

23年度の決算報告

一般会計決算状況

【一般会計・特別会計】

歳入は233億4,490万円

一般会計の歳入は、予算額249億1,087万円に対して、収入済額は15億6,601万円少ない233億4,486万円。

不納欠損額は4,239万円、収入未済額は5億4,609万円の決算となりました。

歳出は229億7,560万円

一般会計の歳出は、支出済額が22年より3億4,503万円少ない229億7,559万円。執行率は、92.2%となり、翌年度繰越額14億1,359万円を差し引いた不用額は5億2,169万円。

特別会計は1億5千万円の黒字に

10ある特別会計の歳入総額は122億7,849万円、歳出総額121億2,814万円。

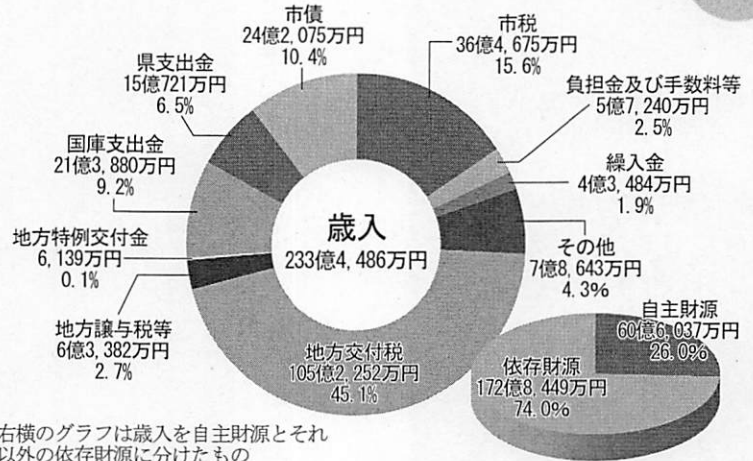
これら歳入・歳出総額を差し引いた形式収支額は、1億5,035万円。翌年度に繰り越す財源がないため、実質収支額は同額の黒字となりました

市債残は10億4千万円の減

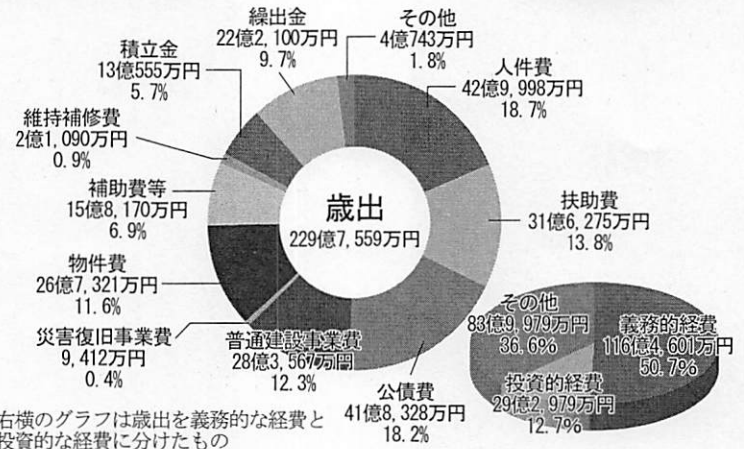
一般会計における当年度末の市債残高は、317億4,735万円で、前年度末より12億5,922万円減少しています。

特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より10億4,021万円減少し、390億5,238万円となりました。

財政状況、右ページの財政健全化判断比率は、市のホームページ
<http://www.city.ohda.lg.jp/32.html>
 で公開しています。詳細は、市役所財政課
 (☎0854-82-1600/内線217) まで



右横のグラフは歳入を自主財源とそれ以外の依存財源に分けたもの



右横のグラフは歳出を義務的な経費と投資的な経費に分けたもの

特別会計決算状況

(単位：万円)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	47億3,893	45億3,885	2億0,008
国民健康保険診療所事業	2,589	2,589	0
後期高齢者医療事業	9億5,695	9億5,695	0
介護保険事業	48億7,225	48億6,308	917
住宅新築資金等貸付事業	293	6,670	△6,377
生活排水処理事業	1億0,752	1億0,752	0
簡易給水施設事業	2億0,238	1億9,751	487
農業集落排水事業	7,558	7,558	0
大田市駅周辺土地区画整理事業	8,409	8,409	0
下水道事業	12億1,197	12億1,197	0

基金・市債の現在高

(23年度末現在)

◇財政調整基金

29億5,348万円

◇減債基金

19億1,575万円

◇その他特定目的基金

31億6,538万円

◆一般会計市債現在高

317億4,735万円

教育・文化

▼久手小学校体育館改築事業

4億6,337万円

▽給食調理業務委託

1億1,435万円

▼学校給食センター整備事業

3億5,911万円

▼石見银山遺跡世界遺産登録

5周年事業 1億8,300万円

▽石見银山遺跡総合整備活用

事業 6億4,450万円

▽重要伝統的建造物群保存地

区整備事業 3億4,250万円

その他

▼消防防災拠点施設整備事業

2億5,388万円

▼島根県知事選挙及び県議会

議員一般選挙執行経費

1億8,450万円

▽長期債繰上償還金

4億4,578万円

《▼は新規事業》

病院事業 (大田市立病院)

当年度純損失が約6億7千万円

23年度の患者数

- ▷入院患者数 延56,575人
(前年度比 4,497人増)
- ▷外来患者数 延 99,557人
(前年度比 107人増)

収益的収支

収入は、32億3,434万円。医業収益が患者数の増加などにより、対前年度比11.8%増となり3億4,075万円の増額。

一方、支出は39億485万円。患者数の増加に伴う材料費、経費の増額などにより対前年度比2.4%増の9,182万円の増額。単年度の赤字幅は2億4,892万円減額したものの、差し引き6億7,051万円の当年度純損失が生じました。

前年度の繰越欠損金26億2,979万円を合わせ、23年度未処理欠損金は33億30万円となりました。

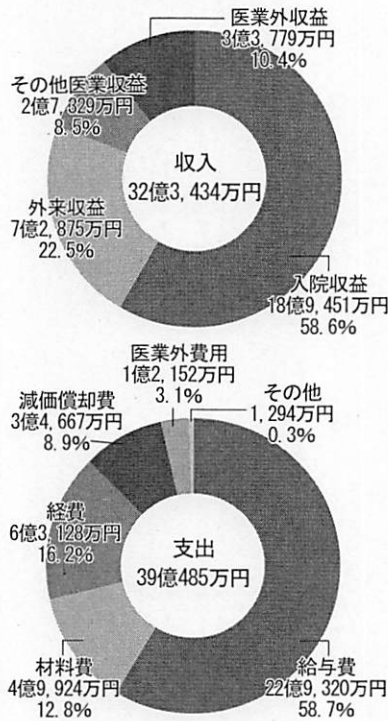
資本的収支

医療機器などの整備及び企業債の償還により、収支不足2億402万円が生じました。これを過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

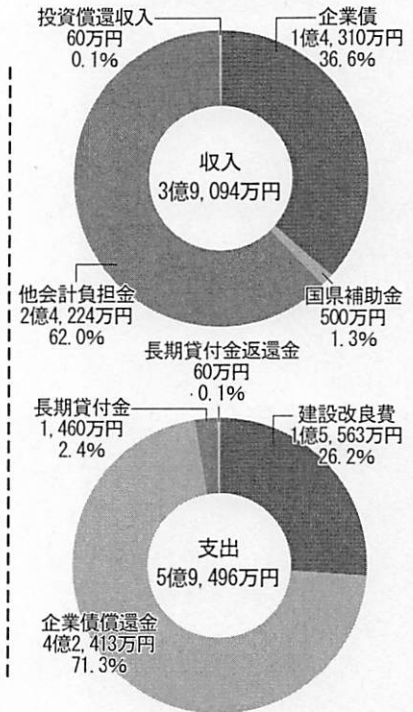
23年度の決算報告

【企業会計】

収益的収支

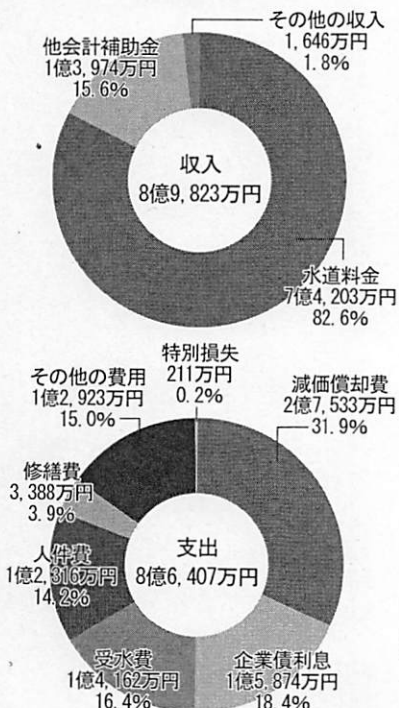


資本的収支

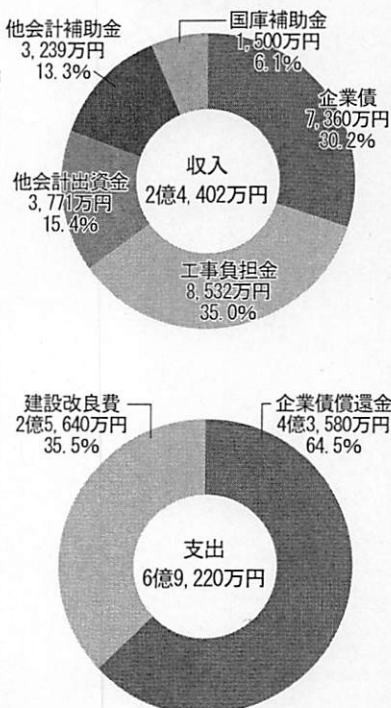


水道事業

収益的収支



資本的収支



収益的収支

23年度の収入は、8億9,823万円。

22年10月の料金改定(△6.25%)の影響などにより、給水収益が約3,471万円の減額となったことを主な要因として、合計で4,328万円の減額となり、対前年度比4.6%の減。

支出は8億6,407万円。

企業債利息や減価償却費の減少などにより、1,051万円の減額となり、対前年度比1.2%の減となりました。

差し引き3,416万円の黒字となり、これに前年度繰越利益剰余金を加えた23年度未処分利益剰余金は、2億5,018万円となりました。

資本的収支

建設改良事業では、石綿セメント管更新工事など23事業を実施。また、企業債の償還により、収支不足額4億4,818万円が生じました。

これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。